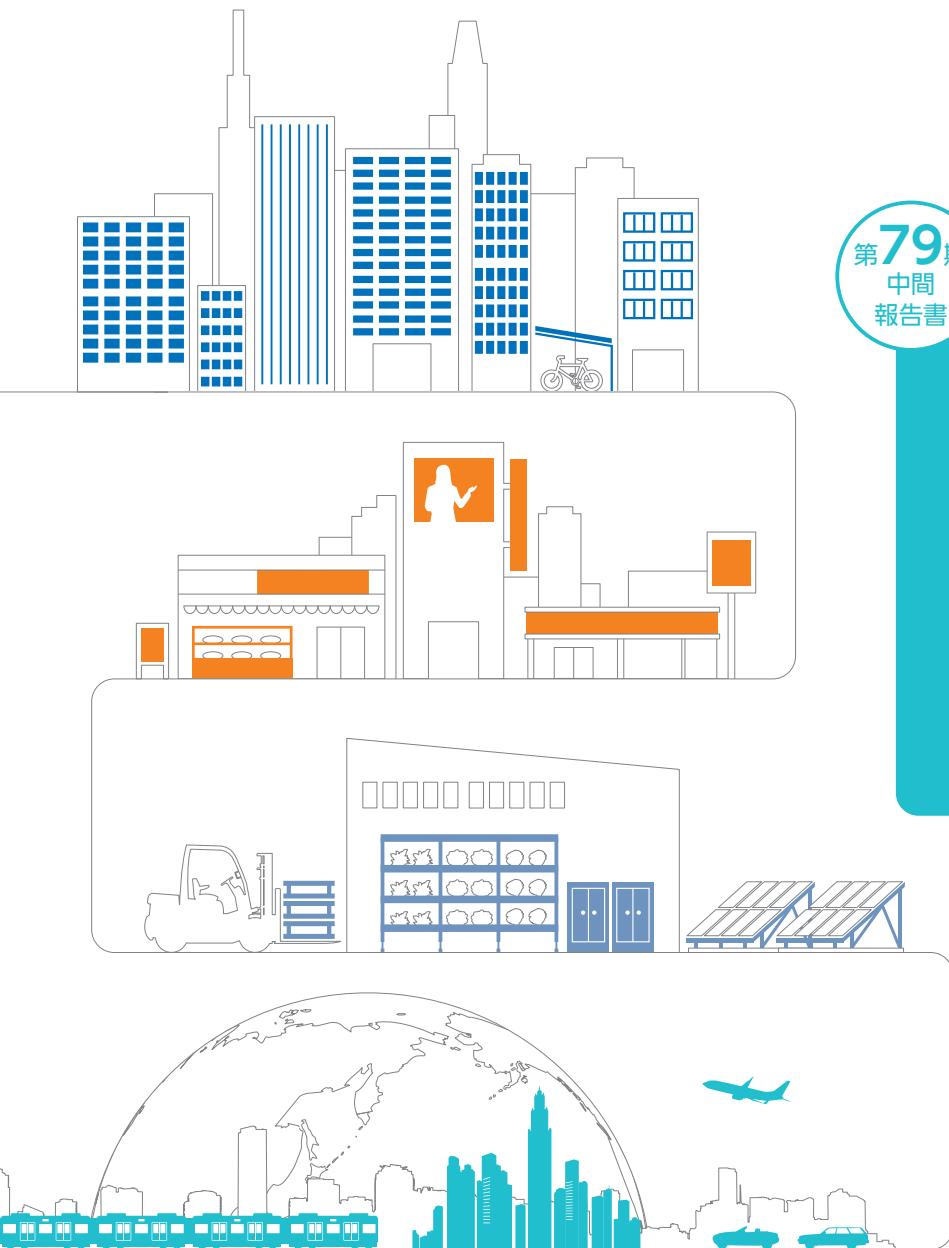


サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひろく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～



第79期
中間
報告書

株主の皆様へ

2023年6月1日 ▶ 2023年11月30日

Contents

経営の概況	01
セグメント別の概況	03
トピックス	08
サステナビリティの取り組み	
■ 脱炭素実現に向けた貢献	09
■ ツインリーフの森づくり活動	10
■ 人財を未来へつなぐ	11
連結財務諸表	13
会社概要／株式情報	14

 三協立山株式会社

証券コード 5932

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

弊社、石川県および富山県に所在する工場のうち、4工場にて一時安全確認のため操業を停止しておりましたが、現在すべての工場で操業再開しております。

今回の震災による当社グループの業績に与える影響については現在調査中であり、開示すべき事象が発生したときは速やかにお知らせいたします。



代表取締役社長 **平能 正三**

当第2四半期の経営環境と営業概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外部環境は、国内においては依然として物価高の影響による住宅投資の抑制や設備投資の弱めの動きにより、建設市場や一般機械市場での需要が減少し、厳しい状況となりました。一方、政府主導の大型支援制度「住宅省エネキャンペーン」が2024年度も継続することとなり、今後モリフォーム需要の増加が期待されます。海外においては、欧州経済はインフレによる低成長が依然として継続し、タイ経済は製造業低迷による景気減速が見られました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,813億72百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益24億78百万円（前年同期比183.2%増）、経常利益27億47百万円（前年同期比107.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億87百万円（前年同期比150.0%増）となりました。

配当につきましては、業績状況や内部留保の充実などを勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としており、当中間配当は1株当たり10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

私たちは

お客様満足

① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値創造

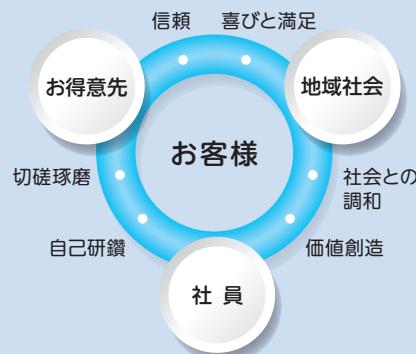
② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との調和

③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己研鑽

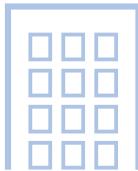
④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



CSポリシー

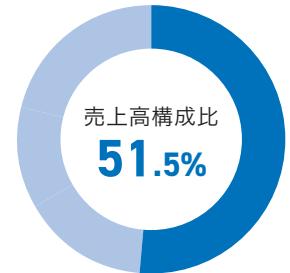
- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

建材事業



多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

三協アルミ



建材事業においては、価格改定の浸透や「住宅省エネキャンペーン」によるリフォーム需要の獲得などがありましたが、依然として建築市場の低迷が続いており、売上高931億62百万円（前年同期比1.3%減）となりました。利益については、売上高の減少がありましたが、価格改定を含めた収益改善施策の効果などにより、セグメント利益6億88百万円（前年同期より12億85百万円の改善）となりました。

明和電機とコラボレーションした新TVCMを2023年10月より全国放映中！



CM特設サイトはこちら ▶ https://alumi.st-grp.co.jp/sumai/tvcm/sankyo_maywa/



ビル建材

ビル建材事業では、近年増加している水害対策の商品として、防水自動ドア「エスティマ」を発売いたしました。また、室内からの眺望やデザイン、安全性を考慮したカーテンウォール用防火内窓「Inprot（インプロット）」や中低層ビル・マンション用アルミ手すり「N-SLIM（エヌスリム）」といった商品も発売いたしました。

今後も皆様の多様なニーズにお応えする商品を展開してまいります。

カーテンウォール用防火内窓
Inprot
インプロット



N-SLIM



住宅建材

住宅建材事業では、この上期は国の住宅省エネルギー補助金事業に伴ったリフォーム商材需要の取り込みとして、後付樹脂内窓「プラメイクEII」を中心とした拡販に尽力いたしました。

2024年度の補助金事業も2023年11月2日着工分から開始されており、新たに補助金の対象となった高断熱玄関ドアを含め、引き続き拡販に注力してまいります。

快速・スマート内窓
プラメイクEII
エーツー
家賃増額内窓
今ある窓につけるだけ



NOVARIS
玄関
リフォーム



エクステリア建材

エクステリア建材事業では、新発売した人工木デッキ「ヴィラウッド」とカーポート「FII（エフツー）」の2商品について、外部よりご評価をいただきました。また、カーポートのパネル材に業界初となる「ブラックポリカーボネート板」を設定しました。

これからも皆様のライフスタイルに合った魅力的なエクステリア空間をご提案してまいります。

人工木デッキ
VILLAWOOD
ヴィラウッド

KIDS DESIGN AWARD 2023



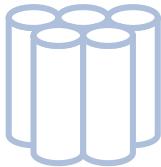
FII
カーポート

GOOD DESIGN AWARD 2023

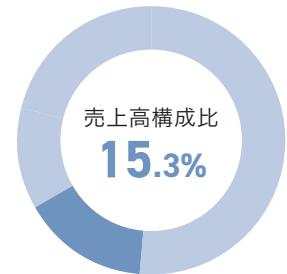


マテリアル事業

三協マテリアル



素材の無限の可能性を追求し
アルミニウム・マグネシウム材の提供を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献いたします。



マテリアル事業においては、輸送分野の需要が堅調に推移しましたが、建材分野、一般機械分野で需要の減少が続いていることやアルミ地金市況に連動して売上が減少したことなどから、売上高277億18百万円（前年同期比5.7%減）となりました。利益については、販売構成の変化や売上高の減少などにより、セグメント利益15億12百万円（前年同期比22.2%減）となりました。



商業施設事業

タテヤマアドバンス



ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。

売上高構成比

12.2%

商業施設事業においては、投資が積極的な業態を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込んだことなどにより、売上高222億0百万円（前年同期比6.7%増）となりました。利益については、売上高の増加や価格改定を含めた収益改善施策の効果などにより、セグメント利益10億20百万円（前年同期比229.3%増）となりました。



汎用什器「タテヤマゴンドラ」



既存の棚板をスライド棚に
商品陳列棚用ブラケット「スライドチェンジャー」

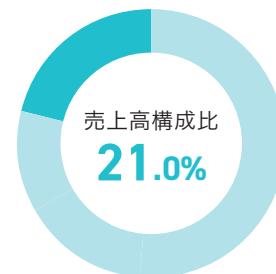


出幅がコンパクトで軽量
外照式サイン「アドビューC」

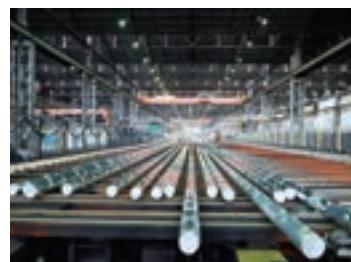
国際事業



欧州・中国・タイにある海外拠点において、アルミニウムの鋳造・押出・加工を行い、高付加価値製品を提供しています。



国際事業においては、為替影響により増収効果はあったものの、アルミ地金市況に連動する売上が減少したことや欧州の押出形材需要の低迷が続いていることなどから、売上高381億75百万円（前年同期比10.0%減）となりました。利益については、売上高の減少などがあったものの、販売構成や欧州子会社でのエネルギーや諸資材価格の上昇に対する価格転嫁などの改善により、セグメント損失6億44百万円（前年同期より51百万円の改善）となりました。



トピックス

新湊東工場に新規のアルミ押出ラインを増設

EV(電気自動車)を中心とする 自動車分野への供給能力を增強

三協マテリアル社 新湊東工場を拡張するとともに、新たな押出ラインの増設を決定しました。中長期で成長が見込まれるEV市場に向けたアルミ型材の供給能力の增強を図ります。



増築イメージ

■ 増築工事概要

工場名	三協立山株式会社 三協マテリアル社 新湊東工場
所在地	富山県射水市新堀28-1
投資予定額	約120億円
建築面積	増築分 12,862㎡ (工場全体 26,566㎡)
構造・規模	鉄骨造 地上2階
着工予定	2024年7月1日
竣工予定	2025年10月31日
製造品目	アルミニウム押出型材
生産能力	約1,000t/月
押出機	1台 (5,500Ust)
太陽光発電システム	増築部分の屋根上に 約7,000㎡のパネルを設置、 パネル出力 約1MW

長期ビジョン「VISION2030」の達成に向け、マテリアル事業の成長に注力してまいりました。今回の新たな押出ラインの増設により自動車のEV化・他のアルミ需要の拡大に対応してまいります。また、屋根上に設置する太陽光発電システムにより発電した電力を同工場内で使用することで、当社が目指すサステナビリティにも寄与してまいります。

—サステナビリティの取り組み 目—

脱炭素実現に向けた貢献

三協立山グループでは、省エネ活動をはじめとする地球温暖化対策に継続的に取り組んでいます。

三協立山グループでは、事業活動における省エネ施策を積んだ上で、電力のCO₂フリー化や太陽光発電の導入などによって、2030年度までに温室効果ガス排出量の50%削減(2017年度比)を目指します。

基準年度である2017年度から2022年度の温室効果ガス(GHG)排出量実績を図で示します。

GHG排出量推移 国内／海外



GHG排出量推移 Scope1／Scope2



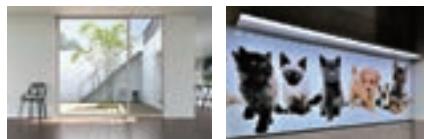
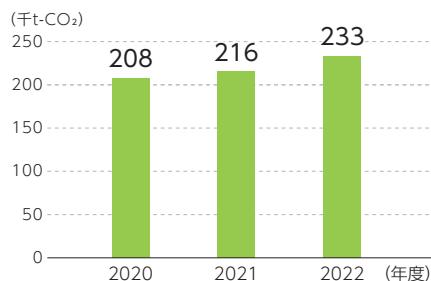
製品使用時CO₂排出量削減の貢献

当グループでは、社会のカーボンニュートラル達成に向け、環境への負荷が少ない商品の提供を進めています。

その取り組みの一つである「製品使用時におけるCO₂排出量削減の貢献」について、断熱サッシ・ドアの使用による、冷暖房のエネルギー低減やサイン照明の消費電力低減により、CO₂排出量の削減に貢献します。2022年度のCO₂排出量削減貢献量は、これら商品の販売実績より233千t-CO₂/年が見込まれます。サステナビリティビジョン2050のもと、お客様満足を追求め、さらなるCO₂排出量削減効果の高い商品の開発、環境に配慮した商品の販売強化につなげていきます。

※断熱サッシ・ドアについては、国立研究開発法人建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき算出したエネルギー消費量の削減分を、CO₂排出係数によりCO₂排出量削減貢献量に換算した。サイン照明については、消費電力量の削減分をCO₂排出係数によりCO₂排出量削減貢献量に換算した。

CO₂排出量削減貢献量



ツインリーフの森づくり活動 10年のあゆみ

三協立山は、地域の環境保全に貢献したいとの思いから、2013年7月から「ツインリーフの森づくり」を行っています。

これは、富山県が推進する「企業の森づくり」に参画し、高岡市にある「モン・ラック タカオカ」の雑木林において、社員とその家族がボランティアで行う、植樹と維持管理などの森づくり、守る活動です。活動は、富山県や高岡市、富山県西部森林組合の方々の指導を受けながら、安全第一で行っています。

2013年以降毎年秋には500本のサクラやコナラなどの広葉樹の苗木を植え、翌年春にその根踏みをし、夏には下草刈りを行うという活動を続け、5年間で2,500本の苗木を植えました。現在は苗木の育成活動として、苗木にかみつけたツルを切り、下草刈りの際に目印となるテープを付ける作業などを行っています。



ーサステナビリティの取り組み **S**ー

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。



人材投資がお客様への価値提供につながる経営を目指して

三協立山グループは、お客様へ喜びと満足を提供するために、新しい価値を創造できる人材の育成と、安全で健全な

関連部署と連携しながら スピード感をもって対応

三協アルミ社
住宅市場開発部 営業推進課 課長
立野 恵美



住宅事業部におけるハウスメーカー、有力ビルダーに対する営業施策・重点施策の立案・推進と、支店の営業支援を関連部署と連携して行っています。住宅市場では断熱・省エネ需要がますます高まっており、営業施策の要となっています。

脱炭素社会の実現に向け、より一層お客様のことば(ニーズ)を捉え、咀嚼し、スピード感を持って、邁進していけたらと思います。今後続く後輩たちにも、営業の楽しさや奥深さなどを伝えていくことが、与えられた使命であると考えます。

多様な人材による協働で 世界でビジネスを創出する

三協アルミ社
海外事業推進部 台湾建材課 主事
趙 楠



現在、台湾におけるアルミ建材事業推進のため、社内関連部署と調整して現地合弁会社および提携先に業務支援と実績管理を行っています。

三協アルミ社における海外でのアルミ建材事業展開を使命とし、今後社内の海外戦略立案と展開推進に自分の力を発揮したいと思います。また、これから世界でビジネスをつくるために、多様な人材による協働が大切だと思います。社内ですのような意識を持っている人が多くなるよう働いていきたいと考えます。

三協立山の 女性活躍推進 について

当社は指標として、2030年度までに女性管理職比率を10%とする目標を掲げ、女性社員が中核人材や経営視点を持つ人材として、部門や会社の意思決定プロセスに関わることを目指しています。また、女性社員が管理職になることだけが女性活躍推進ではなく、さらに能力を生かして様々な業務を経験し活躍できる場を増やす活動をしています。

管理職・係長級 女性の構成比率(単体)





Connecting personnel and the future

働きやすい職場づくりを目指しています。

常に新しい意見や発想で、 柔軟で強固な生産体制を構築

三協マテリアル社
生産統括室 生産管理部 生産管理課 課長代理
金木 雄亮



三協マテリアル社が携わる産業分野は多岐にわたり、求められる生産方法や管理方法は近年高度に厳格化しています。遵守すべき生産基盤を維持しながら、従来のやり方・考え方から柔軟で強固な生産体制を構築していきたいと考えています。

生産管理課は若い課員が多く、新しい意見や発想が多数出てくることを期待していますし、そういった発言がしやすい職場環境を作っていきたいと考えています。

これからの社会環境に合わせた 店舗づくりに貢献

タテヤマアドバンス社
開発統括室 開発推進部 開発推進課 副主任
伏間江 紗希



小売業の幅広い業態のお得意先様向けに、店舗什器の提案・開発を行っています。最近では、無人決済店舗の什器の開発に携わっています。社会課題でもある人手不足対策へのニーズは非常に高く、営業担当と連携しながらお客様の要望に応えられるよう努めています。

今後も、これからの社会環境に合わせた店舗づくりに貢献できるような仕事にチャレンジしていきたいです。

2023年は、女性活躍推進セミナー「なぜ今女性活躍推進なのか」を開催し、講師として(有)クレオの篠田寛子先生にお越しいただきました。全国の事業所とオンライン中継し、取締役をはじめ全国の管理職が受講しています。

そのほか、全社員を対象としたアンコンシャス・バイアス研修や、女性の管理職候補とその上司に向けた人材育成の強化支援などを実施しました。

今後も女性をはじめとした多様な人材が活躍できる風土づくりに向けて、様々な施策を展開してまいります。



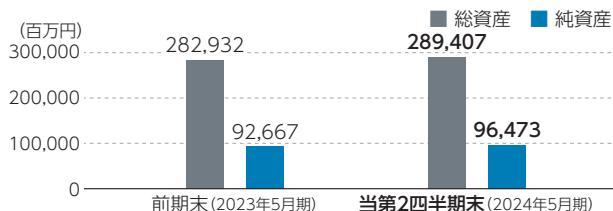
役職者向け女性活躍推進セミナー「なぜ今女性活躍推進なのか」

連結財務諸表

▶ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2023年11月30日現在	前期末 2023年5月31日現在
資産の部		
流動資産	154,741	151,268
現金及び預金	23,043	22,377
受取手形、売掛金及び契約資産	62,865	57,247
電子記録債権	5,520	6,653
有価証券	11	10
商品及び製品	20,914	21,637
仕掛品	16,676	16,399
原材料及び貯蔵品	19,169	19,249
その他	7,208	8,298
貸倒引当金	△ 668	△ 606
固定資産	134,666	131,664
有形固定資産	104,754	103,577
無形固定資産	3,590	3,745
投資その他の資産	26,321	24,341
資産合計	289,407	282,932
負債の部		
流動負債	122,067	128,008
支払手形及び買掛金	44,754	45,284
電子記録債務	20,539	20,698
短期借入金	14,584	23,761
その他	42,188	38,263
固定負債	70,866	62,256
長期借入金	50,142	42,261
その他	20,724	19,995
負債合計	192,934	190,265
純資産の部		
株主資本	74,973	74,002
その他の包括利益累計額	18,348	15,493
非支配株主持分	3,151	3,172
純資産合計	96,473	92,667
負債純資産合計	289,407	282,932



▶ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2023年6月1日～ 2023年11月30日	前第2四半期(累計) 2022年6月1日～ 2022年11月30日
売上高	181,372	187,128
売上原価	145,443	153,554
売上総利益	35,929	33,574
販売費及び一般管理費	33,450	32,699
営業利益	2,478	875
営業外収益	1,228	1,021
営業外費用	959	572
経常利益	2,747	1,324
特別利益	39	19
特別損失	227	144
税金等調整前四半期純利益	2,559	1,198
法人税等	1,310	652
四半期純利益	1,249	546
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 37	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,287	514

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2023年6月1日～ 2023年11月30日	前第2四半期(累計) 2022年6月1日～ 2022年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,147	△ 5,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,036	△ 3,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 912	7,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	696	313
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	895	△ 820
現金及び現金同等物の期首残高	20,455	16,926
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	74	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,426	16,106

▶ 会社概要

会社名 三協立山株式会社
 所在地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
 設立 1960年6月20日
 資本金 150億円
 従業員数 連結:10,321名 / 単体:4,843名
 U R L <https://www.st-grp.co.jp/>

▶ 役員

代表取締役社長	社長執行役員	平 能 正 三
取締役	常務執行役員	池 田 一 仁
取締役	常務執行役員	西 孝 博
取締役	常務執行役員	吉 田 経 晃
取締役	常務執行役員	久保田 健 介
取締役	常務執行役員	黒 畑 靖 之
社外取締役		吉 川 美 保
取締役 監査等委員 (常勤)		本 川 透
取締役 監査等委員 (常勤)		西 岡 隆 郎
社外取締役 監査等委員 (常勤)		長谷川 弘 一
社外取締役 監査等委員		荒 牧 宏 敏
社外取締役 監査等委員		戸 田 和 範

▶ 事業セグメント



▶ 株式の状況

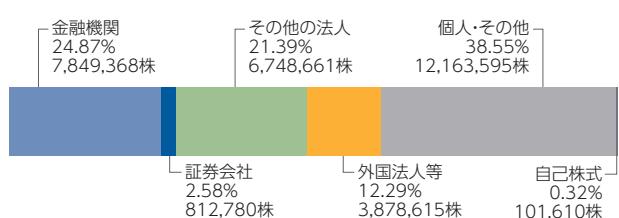
発行可能株式総数…………… 150,000,000株
 発行済株式の総数…………… 31,554,629株
 株主数…………… 19,403名

▶ 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 出資比率	
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,880	9.16
住友化学株式会社	2,235	7.11
三協立山社員持株会	1,407	4.48
三協立山持株会	1,376	4.38
ST持株会	1,241	3.95
三井住友信託銀行株式会社	971	3.09
株式会社北陸銀行	888	2.83
住友不動産株式会社	809	2.57
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	756	2.40
第一生命保険株式会社	445	1.42

(注) 出資比率は自己株式101,610株を除いて算出しております。

▶ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日
定時株主総会 8月
基準日 定時株主総会 5月31日
期末配当 5月31日
中間配当 11月30日

上場証券取引所 東京
公告方法 電子公告 (<https://www.st-grp.co.jp/>)
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
<郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
<電話照会先> ☎ 0120-782-031
<インターネットホームページURL> <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元(100株)未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

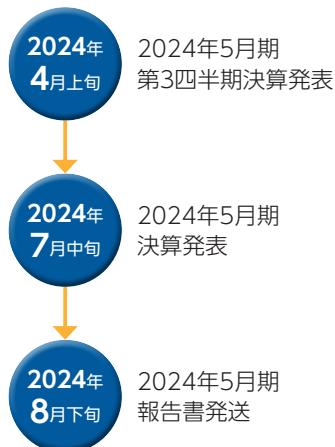
ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.st-grp.co.jp/>

今後のIRスケジュール



 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
TEL 0766-20-2101

UD
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。